

者蟹殼中黃膏如髓腦者、今俗呼美曾是也、源君爲蟹子恐誤、

〔類聚名義抄〕蟹音解 カニ

〔伊呂波字類抄〕蟹カニ八足水虫、亦作蟹、

〔下學集〕蟹氣上 蟹 招異名

〔倭名類聚抄〕蟹十九體野王按、蟹音敷字亦作蟹大脚也、本草云、擁劍其一蟹長者也、

〔箋注倭名類聚抄〕蟹八體今本玉篇骨部作蟹、鈴也、按廣韻、蟹大脚也、與此合、說文魚馨蟹字、蟹字

注云、有二敖八足、知古只作敖、敖本訓出游、轉注謂大脚爲敖、中所引文、本龜貝類擁劍條已引

之、亦云本草、然是源君誤引膳夫經、非本草文也、

〔倭名類聚抄〕蟹十九體沙囊 食療經云、蟹不得并沙囊食之、沙囊和名加仁乃在蟹腹內者也、

〔箋注倭名類聚抄〕蟹八體按沙囊在蟹腹內者也、八字疑是源君注語、似當爲夾行小注、

〔重修本草綱目啓蒙〕蟹三十一體蟹カニガニ讀前ガニ讀州ガニ讀州

蟹ニ淡鹹ノ産アリテ、品類甚ダ多シ、鹹水ニ産スルモノハ、ウミガニト云、淡水ニ産スル者ハ、カハ

ガニト云フ、皆性直行スルコトアタハズシテ、横ニ走ルコト速ナリ、故ニ横行介子ノ名アリ、兩手

ニ鉗アリ、コレヲ螯ト云、ソノ次ニ八足アリ、コレヲ跪ト云、皆尖レル爪アリ、殻ハ堅ク厚クシテ脆

シ、時々蛻シテ、新殻ニ換エ、ソノ眼ハ外ニ出、鰓ノ眼ノ如ニシテ堅シ、コレヲ骨眼ト云フ、腹ニハ横

紋アリ、是ヲ綢腹ト云、腹下ニハ卷反シタル厚キ殻アリ、コレヲ臍ト云、中臍ニ濶狹ノ別アリ、狹

長ナルハ雄ナリ、コレヲ尖臍蟹東鑑ト云フ、濶圓ナルハ雌ナリ、コレヲ圓臍蟹同上ト云フ、ソノ性

驚ヤスシ、月明ナルトキハ、穴ニ蟄シテ出テ食ハズ、故肉少シ、暗夜ニハ出テ食フ、故ニ肉多シ、

〔物類稱呼〕蟹動魁ガサメ畿内にてガサメといふを、江戸にてを、ガサメに、又海がにと云、又西國

蟹種類

蟹性質
蟹形狀